



Another

あにわん! Premium

2018.8.5(Sun.) 12:00~16:30

●本日の流れ

11:00~	受付
12:00	大会オープニング
12:10~13:50	1 R 賢押杯ローリングクイズ
14:00~15:00	2 R ステップラダー703×クイズ
15:10~15:40	決勝 ダブルセブン
15:50~16:20	全国一斉 100問4択ペーパークイズ

●当日のご注意

今大会では大会公式の休憩時間がほとんどありません。あらかじめ食事や飲み物をご用意いただき、出番でないときに食事を済ませてください。

飲食・喫煙等は各会場ごとに定められた規則に従ってください。詳しくはスタッフよりご案内いたします。ご自身で出されたゴミは必ずお持ち帰りください。

休憩時間中の水分補給など、体調管理は各自で万全の状態にしてください(万一、体調不良などでクイズに参加できないといった事態になれば、棄権とみなす可能性もあります)。

会場外などで騒ぐと、施設や大会参加者ではない一般のお客さまの迷惑となります。当大会以外にもクイズ目的で使用される方がいますので、節度ある行動をお願いします。

当日は、貴重品も含め荷物は全て持ち歩き、荷物から離れる際も各自の目の届く範囲に置いてください。紛失・盗難等があっても、主催者側は一切責任を負いません。

他人が不快と感じるようなヤジや罵声、また答えがわかっても口に出したり、ボタンを押すマネをするのはご遠慮ください。こちらで悪質と判断した場合はご退場いただきますので、ご理解ください。

●参加者間の問題集頒布について

大会終了後にクイズ問題集等の頒布の時間を取ります。大会前および大会中の頒布は禁止します(発覚した場合、終了後の問題集頒布をお断り致します)。

頒布可能なものは、商用目的でない問題集やそれに類する物(クイズ大会のDVDなど)とします。頒布する物品や金銭の管理は個人で行ってください。トラブルが起きてもスタッフ側は一切の責任を負いません。

会場によっては規則により頒布ができない可能性もありますのでご容赦ください。

＝ルール概要＝

1R 賢押杯ローリングクイズ

- ・ 開始前に数字を書いたくじをお配りします。
会場内の椅子に番号を書いた紙が貼り付けてありますので、くじの番号と同じ番号の席にお座りください。
- ・ その後、参加人数によって1組6～9人程度になるように番号順に組分けをします(別表参照)。
その組が1セット目の対戦相手となります。ちょうどで割り切れない場合は前の方の組の人数を多くします。

例) その教室の参加者数が 19 人だった場合

1組目…1～7番(7人) 2組目…8～13番(6人) 3組目…14～19番(6人)

- ・ 各組ごとに早押しクイズを出題します。1問正解で勝ち抜け、**誤答は当該組での解答権が無くなり「負け」となります。**
- ・ 勝ち抜けると、早押し席に残っている人数と、誤答で「負け」になった人数の合計を「勝ち抜き人数」を獲得できます。

例) 8人参加の組で1人目に勝ち抜け →「7人抜き」

7人参加の組で誤答が出ず最後に勝ち抜け →「2人抜き」(残った2人は「負け」となる)

- ・ 解答席に残されて正解できなかった場合も「負け」となります。
- ・ **未解答による「負け」は各組最大2名までで、誤答による「負け」が出た場合1～0名になります。**
誤答による「負け」は解答者が残り1名になるまで増え続けます。

例) (正解)(正解)(正解)(未解答)(未解答)

→2名の未正解者(「負け」)が出たのでセット終了

(正解)(正解)(正解)(未解答)(誤答)

→2名の「負け」が決まったのでセット終了

(正解)(未解答)(未解答)(誤答)(誤答)

→2名の負けは決まったが、「0人抜き」が決まっていないのでセット続行。ここから誤答しても「負け」。

- ・ 各組で「負け」となると勝ち抜き人数が増えません(勝ち抜き人数が減ることはありません)。
- ・ **誤答による「負け」が2名以上出ても組の対戦は続行します。正解または誤答で解答者が1名になった場合は、その参加者を勝ち抜け扱いとして組を終了します。誤答による「負け」が2名いる時に誤答しても同じく「負け」となり、勝ち抜き人数は増えません。**

例) 3人が誤答して「負け」となったが、自身は正解もできず1人解答席に残った→「3人抜き」

- ・ セットが終了(=すべての組の早押しが終了)したら、その時点での勝ち抜き人数が少ない順に一列に並び直します。
- ・ 並び直しを行う際は、進行担当のスタッフの指示に従ってください。
勝ち抜き人数が同じ場合は、**エントリー番号が早い方が前に並びます。**
勝ち抜き人数が近い同士で組を作り直したら再度早押しクイズを行い、勝ち抜けると前セットまでに獲得した勝ち抜き人数に、このセットで獲得した勝ち抜き人数を加算します。
- ・ 以上を繰り返し、**開始から 80 分を経過した、または出題問題数が 250 問を越えたセットまで実施し、成績により2Rのステップラダー703×クイズのスタート位置が決定します。**
- ・ ステップラダー703×クイズ参加組を分けるボーダーライン上で勝ち抜き人数が同数の場合は、対象者で1問先取・1問誤答失格の早押しクイズを行い、勝者が上位の組からスタートします。
- ・ 第1組～第2組、第2組～最終組で同時にボーダーライン上で並んだ参加者がいた場合は、全対象者に同時に早押しクイズを出題し、1問先取・1問誤答失格の判定を当該対戦に対してのみ適用します。

別表 賢押杯ローリングクイズ 人数分け

部屋参加者(人)	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25
1組目	5	6	6	7	7	8	8	9	9	7	7	7	8	8	8	9
2組目	5	5	6	6	7	7	8	8	9	6	7	7	7	8	8	8
3組目										6	6	7	7	7	8	8

2R ステップラダー703×クイズ

- 参加者を1Rの成績と各部屋の参加人数により2～3組に分けます(別表参照)。
- 1組目から早押しクイズを出題し、7問先取で勝抜けとなります。
- 誤答は減点や休みはありませんが、各組内3回で失格となります。
- 1組目・2組目からは各2名ずつが勝ち残り、次の組へ引き続き参加することが出来ます。このとき、誤答の回数はリセットされます。
- 最終組(3組目)からは3名が勝抜け、決勝進出となります。
- 2部屋開催の会場では、1組目・2組目は1Rと同じ部屋、最終組は最初に集まった部屋に集合して実施します。最終組にストレートインできるのは各部屋1Rの1位、合計2名のみです。
- 各組40問限定で出題します。全問題を出題して2または3名の勝抜けが決まらない場合は
 - 「正解数マイナス誤答数の数値の大きいほう(失格者を除く)」
 - 「1Rの成績上位」
 - 「エントリー番号が小さいほう」を勝抜けとします。
- 失格者が複数出て残り勝抜け枠と解答権保持者が同数となった際は、残った解答権保持者全員を勝抜けとします。

別表 ステップラダー703×クイズ 人数分け

1 部屋開催の場合(1組目・2組目は2人勝ち残り、最終組は3人決勝進出)

部屋参加者(人)	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25
1組目	6	7	8	9	10	7	7	8	8	9	9	10	10	11	12	13
2組目						4	5	5	6	6	7	7	8	8	8	8
最終組	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4

2 部屋開催の場合

(勝ち残り・決勝進出人数は1部屋と同じ。1・2組目は各部屋、最終組は集まって実施)

部屋参加者(人)	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25
1組目	7	8	9	10	11	12	12	12	12	12	13	14	15	16
2組目	4	4	4	4	4	4	5	6	7	8	8	8	8	8
最終組	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1

決勝 ダブルセブン

- 3名による、2セット先取の早押しクイズで、各セット7問正解でそのセットを獲得します。
- 誤答は、第1セットは1回、第2セットは3回、第3セットは5回、最終セットは7回の誤答でそのセットにおいて失格となります。
- 2セット先取した1名が「あにわん? Another」または「あにわん! Premium」の優勝者となります。
- 各ゲーム終了時に20秒のインターバルタイムを設けます。
「あにわん? Another」「あにわん! Premium」ではセコンドの帯同は認めません。

アフター 全国一斉100問4択パーパークイズ

- 全参加者を対象にマークシート解答の4択パーパークイズを実施します。
筆記用具と下敷きをご用意ください。
- 問題数は100問、制限時間は20分です。
- 正解数の多い方を上位とし、同点の場合には1問目からの連続正解数で順位を決定します。
正解数、連続正解数がすべて等しい場合は、大会全体のエントリーが早いほうを上位とします。
- 解答用紙は回収し、後日集計が終わり次第結果を公式サイトで発表させていただきます。
- 上位はお名前を発表し、お一人お一人に対してはパスワードを用いた照会を予定しております。
- 模範解答は問題集として当日配布します。

＝ルール補足＝

●早押しクイズ正誤判定基準

シンキングタイムは、ボタンが点いてから3秒間。ブザーと同時の解答は不正解とする。

解答が聞こえなかった場合、正誤判定者は「すみません、聞こえませんでした。」と言って解答者の再解答を促す。(この場合、解答者は最初に言った答えをそのまま答えなくてはいけない)

解答が正解に限りなく近いが、そのままでは正解にはならない場合(近い遠いは正誤判定者の判断)、正誤判定者は「もう1回」と言って、解答者の再解答を促す。(この場合、解答者は最初に言った答えをそのまま言わず、別の答えを答える)

東洋人名(日本・韓国・中国・台湾など)は、フルネームでの解答に限り正解とする。ただし、東洋人名でも、通称が固有名詞化した場合や、四股名はこの限りではない。

西洋人名は、基本的にファミリーネームのみでOK。明らかにフルネームを要求される問いは例外とする。複合姓はファミリーネーム同様に区別の必要性がある場合のみ求め原則一般的な呼称のみで正解とする。

本名や別号など知名度が低いと正誤判定者が判断した解答は「もう1回」の対象とする。

また、同カテゴリに同名の別の人物がいる問題の場合、ファミリーネーム等で区別を求める。

(例)

問題:アメリカの26代大統領は誰でしょう?

正解:セオドア・ルーズベルト(「フランクリン」がいるため「ルーズベルト」のみは「もう1回」)

複数の中からひとつだけを答える問題の場合、問題文のままの順序で全てを答えた場合は正解とするが、それ以外の場合、全てを解答するのは不正解とする。

都道府県名と都市名の両方を答えた場合、都市名の方を答えたものとみなす。明らかな間は誤答とする。

クイズ中に正誤判定者がミスをした場合や、問い読みが明らかに解答をミスリードさせるような読み方を行った場合、大会長および司会者の判断により判定を無効あるいは訂正を行う可能性がある。タイムレース中に発生した場合は、途中でクイズの進行を中断し、判定の審議を行う場合がある。

歌詞や文章の一部を問う問題で、問われているもの以上を解答した場合は、たとえ歌詞・文章通りでも「もう1回」の対象とすることがある。その場合、解答者はより絞った解答をしなくてはならない。

ことわざや慣用句のすべてを答えた際、問われているものは正解だが、問題文と一部が異なっていた場合は「もう1回」の対象とすることがある。その場合、解答者は問われているもののみか、問題文通りのことわざや慣用句で答え直さなくてはならない。

●「あにわん！」シリーズ 独自の正誤判定基準について

実在の人名の基準をそのまま運用するが、作品中の大半で呼ばれている名前・呼称があり(＝作品中でフルネームで呼ばれることがほとんどない)、かつそれが作品内で一意に限定されるものである場合は、それも正解とする。

(例)

問題:漫画『ONE PIECE』の主人公は誰でしょう?

正解:「モンキー・D・ルフィ」「ルフィ」いずれも正解

問題:テレビ朝日の萩野志保子アナウンサーが声を担当している、アニメ『ドラえもん』の登場人物は誰でしょう?

正解:「出木杉くん」「出木杉」「出木杉英才」いずれも正解

上記に該当せず、苗字やファーストネーム等のみを解答した場合は、解答を完了したものとみなされず、シンキングタイムのカウントが続行される。

作品名を答える際は原則として副題を添えた解答は求めない。ただし、シリーズ作品等で副題以外での区別がつかないなど、副題を答えなければ解答を一意に限定できない場合は、副題の解答が必須となる。

●「あにわん? Another」「あにわん! Premium」早押しクイズ問題難易度について

早押しクイズの問題は、ラウンドの進行に伴って難易度が上昇・または下降することを意図せず並べられている。また、「あにわん? Another」と「あにわん! Premium」は全く同じ問題を使用して進行する。

●出題問題数について

大会中、出題問題数の経過等は一切告知しない。

●当日のルール変更の可能性

当日進行上の都合で、勝ち抜きの点数などのルールを主催者判断にて変更を行うことがある。